

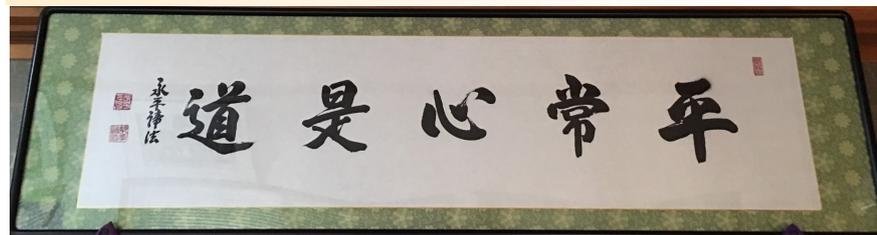
山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道



己亥

平成31年己亥 住職年頭挨拶



大本山永平寺貫首福山諦法禅師ご真筆（仁叟寺蔵）

「平常心是道（へいじょうしんぜどう）」南泉普願禅師

中国唐代の禅僧南泉普願禅師と、その弟子趙州從諗禅師との禅問答中の言葉とされ、『無関門』に遺されています。「道とは如何?」という問いに対して南泉禅師は一言、「平常心是道」と答えました。また、大本山總持寺を開かれた瑩山紹謹禅師は、師の徹通義介禅師から「平常心是道」の意味を問われ、「茶に逢うては茶を喫し、飯に逢うては飯を喫す」と答えました。

平常心というのは特別な事ではなく、普段の日常生活を地道にコツコツ精進していくところに生じてくるものであります。喜怒哀楽、生老病死、我々の人生には様々な場面があります。今この日常の積み重ねを大切に、ご縁を尊び感謝する。常に平静沈着なる平常心で過ごす事の大切さを説いた禅の教えであります。

平成最後の年となりました。本年も宜しくお願いいたします。

合掌

【平成31年 年回表】

一周忌	平成三十年	二十三回忌	平成九年
三回忌	平成二十九年	二十七回忌	平成五年
七回忌	平成二十五年	三十三回忌	昭和六十二年
十三回忌	平成十九年	五十回忌	昭和四十五年
十七回忌	平成十五年	百回忌	大正九年

- ※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。
- ※2 該当檀信徒各家には封書にて通知が届きます。
(但し、百回忌を除きます)

平成31年 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/10 大般若大施食会法要
- 3/18~3/24 春季彼岸会
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 新本堂落慶法要・諒道得度式
大施食会併蚕影山例祭法要
- 7/13~7/16 京浜地区盂蘭盆会
- ※7月下旬(1泊2日) 第38回子供禅の集い
- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- ※10月 檀信徒研修旅行
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講・華道教室
- ※は、本寺仁叟寺様にて修行

長野県佐久市 信永院晋山結制退董式 圓成



↑ 信永院新命・渡辺俊司住職

建されました。本堂前には仁叟寺榿の木の子株と伝わる樹齢400年の榿が聳え、本尊は釈迦牟尼仏。新任職は当山住職の弟である渡辺俊司師です。請われて家族で転居し、凡そ9年。93歳になる内山宏志前任職始め檀信徒の皆様方と話し合いを重ね、本慶事法要を修行いたしました。

首座には隣寺・城光院様のお弟子さんで在家より発心し、僧侶となった松本師が、可愛い辨事役の和尚さんは、俊司師長男で小学校1年生の颯司君が、その任に当たりました。寺檀一如という言葉通り、多くの檀信徒が式に集い、また近隣のご寺院様も手厚くご協力をして下さり、260名程の関係各位が見守る中、前任職慰労と新任職誕生の祝賀の大法会を、盛会裏におつとめることが出来ました。この度は、誠におめでとうございました。

／辨事・渡辺颯司君

昨年10月13日～14日の二日間に亘り、仁叟寺末寺である長野県佐久市望月の信永院様に於いて晋山結制退董式が修行されました。晋山とは新しく住職を迎える就任式、結制とは大和尚となる式、退董とは住職が東堂となる退任式の意です。

信永院は仁叟寺四世莊山道巖大和尚が開山、武田家家臣の望月氏が開基となり天正年間に創



↑ 鬼気迫る禅問答



自らを洲とする ～東日本大震災被災地支援～



↑ 慰霊供養（南相馬市下渋佐寄添い地藏前）
 ↓ ボランティア作業風景（南相馬市小高区）

去る11月26～27日に掛けて、東日本大震災被災地域である福島県に伺って参りました。本年も恒例となった物故者慰霊法要を南相馬市新祥寺様本堂及び津波被害物故者供養塔前2箇所にて修行。奉仕作業を、住職ほか群馬県曹洞宗青年会有志11名と福島県曹洞宗青年会の光英元会長ほか有志3名、合計14名で、被災地域である、南相馬市小高地区にてつとめさせていただきました。

今回も南相馬市の新祥寺野田精頭副住職に窓口になっていただき、慰霊及び作業に当たって準備を行っていただきました。有難うございました。

此の度は、南相馬市小高区の除草作業、ビニールハウス撤去等を福島県群馬県両県青年会員が力を合わせ行い、皆と共に汗を流しました。

早いもので本年3月11日で、丸8年が経過いたします。風化させることなく、出来る人が出来る時に出来る事を行う。引き続き、これからも協力をさせていただければと考えております。

出牛裕一総代長 年頭挨拶

明けまして、おめでとうございます。昨年は色々とお世話になり、誠に有難うございました。本年も宜しくお願い申し上げます。新しい年が、檀信徒の皆様にとって、良い年でありますように、お祈りいたします。

さて、新本堂の姿が出来、完成に向けて工事が進んでおります。建設委員会始め多くの工事関係各位の皆様のご理解ご協力に、心から感謝申し上げます。本堂建築に当たり、特に宮大工の堂宮入秀社寺建築株式会社様にはお世話になりました。お忙しい中、入内島棟梁には昨年の総会・施食会の際に、説明会を兼ねご講演も賜りました。また、天井画を筑井孝子先生ご依頼いたしましたところ、ご多忙中にもかかわらず、快くお引き受けしていただき、誠に有難うございました。心より感謝申し上げます。

最後に、完成まで今一步の所、ご援助ご指導を引き続きご協力頂きます事、宜しくお願い申し上げます。合掌

上棟式にて挨拶を行う
出牛裕一総代長



龍源寺総代人一同

出牛裕一 白田 博 木村照夫

檀信徒の皆様へ

住所等の変更がありましたら、必ず菩提寺までご連絡を下さいますよう、お願いいたします。

渡辺諒道君、得度式修行予定

今春の新本堂落慶、蚕影山例祭、大施食会法要に併せ、息子の渡辺諒道君の得度式を修行する予定です。和尚となる第一歩を踏み出す、重要かつ貴重な法要です。あたたかく見守っていただければ、幸いです。渡辺諒道（高崎市立多胡小学校4年生、10歳）



哲道上座得度式（平成27年仁叟寺）

行雲流水（編集後記）

編集人 住職 渡辺龍道

龍源寺開闢以来の大事業となります本堂再建事業。計画から含めると約13年の春秋が経過いたしました。役員会や委員会等で綿密に話し合い、今春4月29日に愈々落慶となりました。当日は、檀信徒の皆様方に於かれましては、是非ご臨席賜りたく存じます。

また、師匠の仁叟寺住職が、昨年12月を以て4年間の群馬県宗務所長任期満了となりました。当方も、会長を勤めました群馬県曹洞

宗青年会を昨年卒業となりました。任期中は、様々な場面で、多くの関係各位に、多大なるご法助ご協力を賜りましたこと、深く感謝しております。誠に有難うございました。合掌

—昨年6月に太田市の
靈雲寺様より来た新
たに家族になりました
猫のコンプみです

